



2018年12月20日発行

編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6

http://www.chuoh-kyouiku.co.jp



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.82 ＜教育は、安心の土俵の上に乗っている仕事＞

2018年も残すところ、あと2週間を切りました。2018年は、読者の皆様にとって、どのような年であったでしょうか。私どもMBAの2018年は、新しいことに取り組んだ1年だったように思います。来年は、この新しいことが、芽になり幹になり、葉を茂らせて、花が咲くように育てたいと思っています。

さて今回は、当たり前のことの確認をして、1年を終えたいと思います。それは、私たちが、今行っている仕事に対する再認識をするという作業です。それも、基本の基本を違う角度から言うとうどうなるかということです。それでは、スタートしましょう。

唐突ですが、皆さん、個別指導と集団指導の違いを皆さんなりに表現してみてください。例えば、皆さんが、個別指導を仕事としているのなら、個別指導の角度から、違いを表現してみてください。

一般的な個別指導として、その違いを整理すると以下のようなのではないのでしょうか。

	個別指導	集団指導
講師	生徒からの心理的距離が近い学生講師	生徒からの心理的距離が遠い専任講師
指導教科	生徒本人が指導を望む教科	生徒本人の希望ではない教科も含む
授業レベル	生徒が持っている学力を基にした授業	大勢の平均値的な学力を想定した授業
カリキュラム	生徒本人が躓きそうな問題を考慮したもの	その塾の方針にそった仮説的なもの
テスト対策	生徒本人が通っている学校の対策	複数の学校の共通項を対策
入試対策	生徒本人が受験する学校の対策	受験をするであろう学校の対策
料金	個々人のオーダーによる	前もって決まっている

この整理は、個別指導用のものですから、個別指導に有利になるようにまとめました。逆に皆さんが、集団指導を行っているのであれば、どうまとめるのでしょうか。

	個別指導	集団指導
講師	学生講師で、教え方にむらがある	専任講師を中心に、教えるプロが指導する
指導教科	高校受験は5教科なのに、5教科指導が出来ない	内申対策も含めて、入試対策を5教科指導する
授業レベル	生徒の学力に合わせ過ぎた授業	生徒の学力よりもちょっと上を指導して学力を向上させる
カリキュラム	学校の後追いのカリキュラム	学校の授業が復習になるように進めるカリキュラム
テスト対策	生徒本人が望まなければやらない	学校別にしっかり対策をする
入試対策	専門の入試対策はしない	高校入試問題に精通した対策
料金	5教科受講できない高額な料金	5教科指導を十分受けられる料金

こちらの整理は、集団指導の視点で、個別指導をやっつけるためのものですから、個別指導の先生が見たら気分が悪くなるものだと思いますが、こういう整理をしておくことも重要なことです。そして、最後に、自塾の個別指導 VS 他塾の個別指導。自塾の集団指導 VS 他塾の集団指導で整理をしてみてください。

集客をして、入塾説明をする際に、どんな説明で、保護者を自塾のファンにするか、生徒をファンにするか、ここが非常に重要なことです。そのために、ぜひ、一度自塾の良い点を上記のようにまとめる作業をしてみてください。自塾のコンセプト創りに大いに役立つはずです。

2018年もお世話になりました。2019年もよろしくお願いします。

良いお年を！

【編集後記】

中土井の動画ストリーミング配信開始！

プレゼン力+共感力で、生徒から「この先生から教わりたい！」と言われる教師になるための技を中土井が徹底伝授！あなたの授業と生徒対応スキルに更に磨きをかけて、地域一番の教室にしてください！

▼くわしくはこちらから▼

<http://management-brain.com/lp2>

▼お問合せはコチラ▼

TEL 045-651-6922 Mail : mailadm@management-brain.co.jp

合資会社マネジメント・ブレイン・アソシエイツ
教育コンサルタント 中土井鉄信

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.46

受験シーズンが始まっていますね。

受験のシーズンは本人はもとより家族、とくに母親がもっとも緊張する季節。

(株)日本能率協会総合研究所(東京都港区)が、全国の受験生(幼稚園保育園年長・小学6年生・中学3年生・高校3年生)の母親1,509人を対象として、通塾実態や体調管理についての調査を行っています(11月15日～20日)ので一部を紹介しましょう。

【回答者数】

幼稚園保育園年長の母親	173名
小学6年生の母親	336名
中学3年生の母親	500名
高校3年生の母親	500名

まずは母親の職業から。

◆母親の職業

専業主婦	40.2%
パート・アルバイト	35.7%
フルタイム勤務	22.7%
その他	1.4%

(独法)労働政策研究・研修機構によれば、2017年時点でのわが国の専業主婦世帯の割合は35.0%。1997年にそれまで常に過半数を占めていた専業主婦世帯が50%を割り込んで以来、毎年少しずつ低下しています。

この調査の回答者には幼稚園保育園の年長さんの母親がだいぶ入っていますので、専業主婦の割合が少々高いと考えてよろうと思います。

◆通塾率

小学校受験生	51.4%(週5日以上8.1%)
中学校受験生	78.6%
高校受験生	62.4%
大学受験生	43.4%

通塾率が最も高いのは中受ですね。うなずけるところです。

高校受験生の62.4%は思ったより低いという感じがします。近年急増した地方の高校の定員割れなどが影響しているのでしょうか。

一方、大学受験生の通塾率は思ったよりも高いという印象を受けます。また、週5日以上が意外に多いのは自習室の利用者が多いということなのかもしれません。

◆塾で食事を摂る割合(平日)

小学校受験生	34.1%
中学校受験生	40.9%
高校受験生	11.0%
大学受験生	33.6%

塾で食事をという受験生がこんなにいるんですね。それも「コンビニやお弁当屋、ファストフード店で買う」の28.4%を押さえて、「家で作ったお弁当」を食べる受験生が69.7%。おにぎり(86.1%)や菓子パン(58.4%)、サンドイッチ(49.5%)の軽食程度のものがほとんどにしても、ちょっと驚きです。

◆子どもに関して現在心配なこと(複数回答)

風邪やインフルエンザにかかること	72.4%
体調管理	65.6%
勉強・学業	48.3%
同級生・友人との交友関係	14.5%
夢や将来	14.2%
習い事	5.4%
クラブ活動・部活動	3.8%
異性との交遊関係	3.2%
その他	0.5%

やはり「風邪やインフルエンザが」トップですね。この先とくに受験直前などに数日寝込めば致命傷になりかねません。

では、風邪やインフルの予防対策としていま、利用しているものは何かというと…。

◆風邪やインフルの予防対策(複数回答)

ヨーグルト	52.2%
マスク	51.6%
ハンドソープ	44.8%
加湿器	25.4%
空気清浄器	23.1%
うがい薬	21.1%
除菌ジェル	15.8%
殺菌・除菌ウェットティッシュ	15.4%
除菌スプレー	12.5%
乳酸菌タブレット	10.1%

回答率10%以上だけ記載しましたが、ヨーグルト、マスク、ハンドソープが三種の神器でした。

母親がこんなに予防に気を遣っているのですから、塾でもハンドソープや加湿器、空気清浄器程度は常備しておく必要があります。

蛇足ですが、ヨーグルトの一番人気は「明治プロビオヨーグルトR-1」(50.9%)、二番人気は「ヤクルト」(25.5%)、三番人気は「明治ブルガリアヨーグルト」(20.9%)でした。